

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	市長公室
	課名	市民活動支援センター
	係名	協働推進係
	記入者	電話(内線) 641

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	環境美化パートナーシップ事業				(3) 事業の 優先度	A	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市			
① 事業の区分	主要事業				(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)			
② 施策コード	51101	(総合計画掲載ページ 132 ページ)		会計区分		一般会計				
基本目標(政策)	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)			財源区分		市単独				
基本施策	5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり(市民参加・広聴広報・コミュニティ・ボランティア)			予算科目		款 2	項 1	目 13		
施策	①協働のまちづくりの推進			予算書上の		環境美化パートナーシップ事業費				
施策内容	1市民参加の体制強化			事業名称		(予算書 49 ページに掲載)				
(5) 事業期間	開始	平成	20	年	月から	(8) 事務分類		自治事務		
	終了			年	月まで (力年)	根拠法令				

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
市内に居住しているか、通学または通勤する個人で構成される団体や市内に所在する企業、法人、その他団体を対象とする。	環境美化活動を通して、協働のまちづくり及び地域コミュニティの活性化を図る。 また、身近な公共空間の環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民団体や企業などとの協働による「きれいな“まち”」を実現する。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
市民団体や市内に所在する企業などが市との合意により、道路や緑地等公共的な場所の清掃・除草作業を行い、市はその活動に対し必要な支援を行う。 ・市民団体などへの活動支援(物品等の貸与・支給、保険加入など) ・参加者の募集広報及び事業の啓発活動 ・活動に対する感謝状の贈呈及び表彰の推薦	市民と協働することにより、協働のまちづくりの推進及びコミュニティの活性化を図ることを目的に、環境美化活動を行う。 清掃・除草委託費の予算削減などにより、道路沿いなどの環境が悪化しており、環境の改善及び環境美化意識の高揚を図る。
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境、市民ニーズ等) や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
環境美化に対する意識も浸透してきており、少しずつではあるが活動に取り組む団体、企業が増えてきており、個人での相談などもある。しかし、地域や団体、企業によって環境美化への意識の差があり、更なる広報及び支援の充実を図っていく。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映		
実施計画								
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）		
事業内容		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度		
（１）事務事業費	報償費	11	30					
	需用費	76	168					
	役務費	41	80					
	委託料	0	29					
	原材料費	21	101					
	合計	149	408					
	財源	国庫支出金（千円）						
県支出金（千円）								
地方債（千円）								
その他特定財源（千円）								
一般財源（千円）		149	408					
合計（千円）		149	408					
補助・起債制度名								

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称				単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	広報紙や掲示板などへの掲載	目標値	回		6	6	6	6	
		実績(見込)値		6	6				
	物品などの貸与・支給	目標値	回		60	65	70	75	
		実績(見込)値		30	35				
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	活動合意団体	目標値	団体		37	38	39	40	
		実績(見込)値		36	37	38	39	40	
		達成率		90.0 %	92.5 %				
	参加延人数	目標値	人		1,220	1,250	1,280	1,300	
		実績(見込)値		1,130	1,220	1,250	1,280	1,300	
		達成率		86.9 %	93.8 %				
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。									
市民が多数集まる市民講座開催時に、長年環境美化活動に取り組まれた合意団体5団体に対し、市長より表彰状の授与を行った。 また、使用頻度の多い貸与品の整備、消耗品の購入などを行った。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価					理由				
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	環境美化に対する意識の高揚や活動に対する理解を深め、活動を広げるために必要な事業である。					
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	実施する団体が様々であり、清掃場所の担当課が異なるなど、活動計画の確認や各種手続きなど担当課との更なる連携が必要である。					
	手段の妥当性	A	妥当である	市民団体や企業などと市が協働して、環境美化に取り組んでいる。					
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	支給品や保険加入などの費用はかかるが、自主的に活動している団体や企業が多く、ごみの搬入などもほとんどが合意団体で行ってもらっている。					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	市内に住居または通勤・通学する個人で構成される市民団体や市内に所在する企業、法人などと合意書を締結し支援を行っている。					
有効性	成果の向上	A	上がっている	環境美化活動についての意識の定着化が進んでおり、合意団体も年々増加している。団体や法人、個人などからも環境美化活動についての相談がある。					
進捗度	事業の進捗	A	順調である	環境美化についての意識の定着化が進んできており、合意団体も年々増加している。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。									
環境美化活動への理解や意識の高揚は図られてきている。 しかし、活発に活動している団体や企業、法人とそうでないところの環境美化活動への意識の差が大きくなっていると感じられる。 また、ごみの搬入など合意団体に行ってもらっているが、運搬手段がなく対応できず市で回収し処分しているところもある。公共用地の担当課との連携も必要となる。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？									
市民講座や講演会などでも周知を図り、環境美化活動への意識の高揚を図る。 また、お知らせ版やホームページなどでのボランティアの募集や活動報告などを行い、活動団体の広報支援及び環境美化活動の啓発を行う。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			合意団体の活動の様子や活発な団体を顕彰することで、制度の周知と活動の活性化と新規団体の発掘を図る。市民による自発的な公共用地の環境美化活動であることから、行政内部の理解と連携を促す。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				